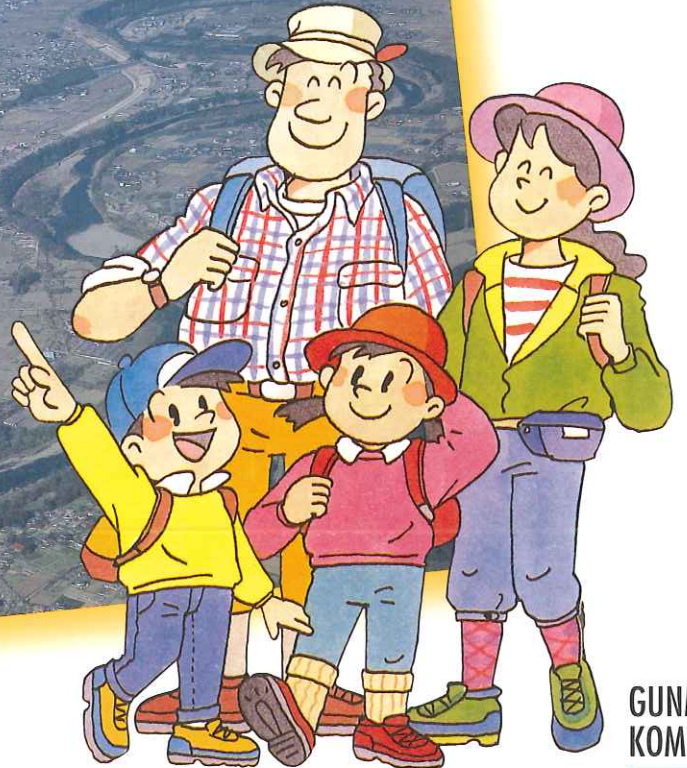
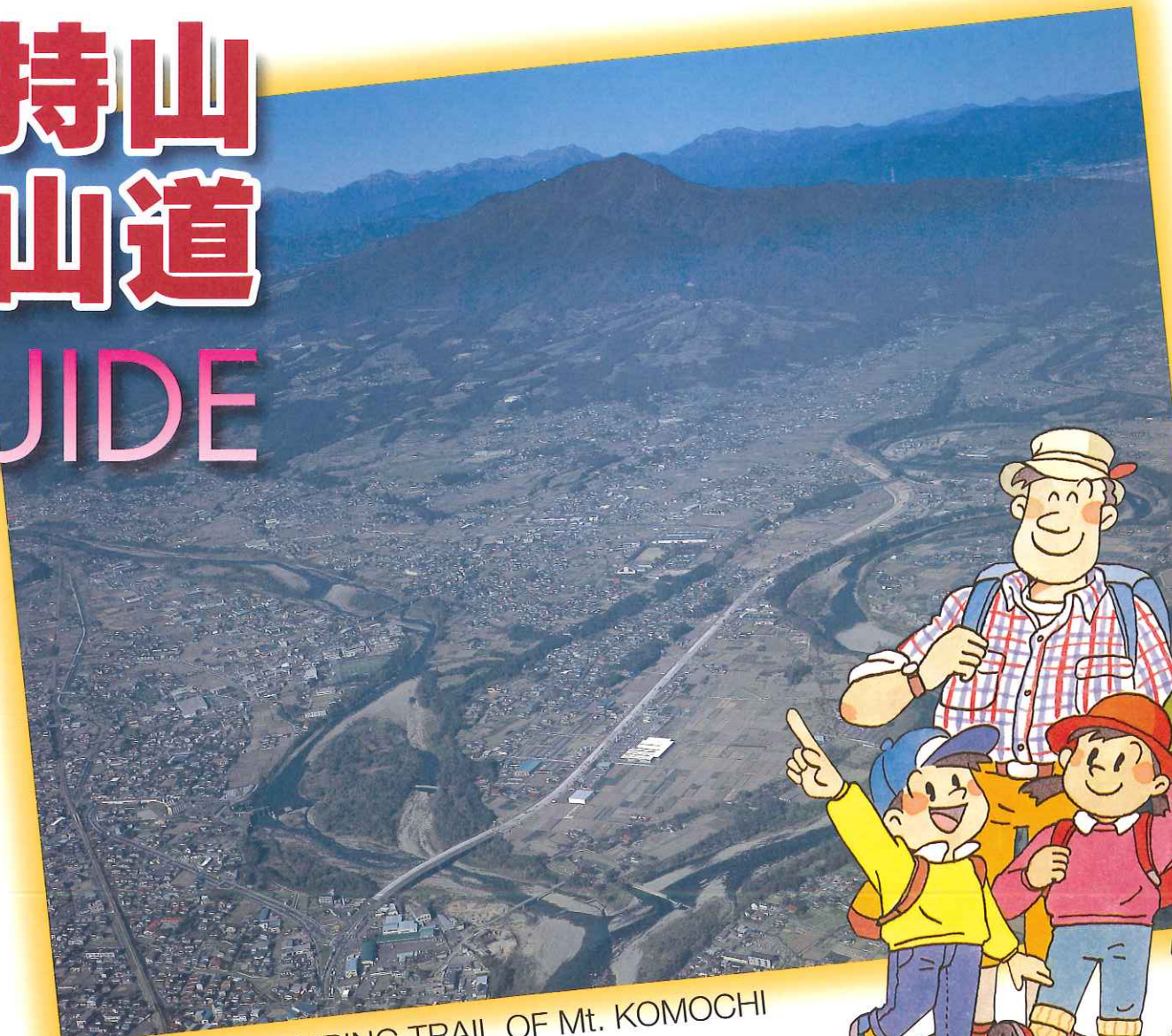


子持山 登山道 GUIDE



THE CLIMBING TRAIL OF Mt. KOMOCHI

GUNMA
KOMOCHI

歩いて、登って、からだイキイキ。 新鮮度100%の空気の中で森林浴。

登山
コース

★ 子持神社 $\frac{40分}{}$ 3号橋上流 $\frac{10分}{}$ 5号橋上流 $\frac{5分}{}$ 登山口 $\frac{とざんぐち}{}$ $\frac{びょうぶいむ}{}$ 屏風岩 $\frac{5分}{}$ 50分 しし岩 $\frac{1時間}{}$ 子持山 $\frac{20分}{}$ マイクロ $\frac{ウェーブ}{}$ $\frac{1時間30分}{}$ 国民宿舎 $\frac{わらび荘}{}$ $\frac{タクシー30分}{}$ JR吾妻線中之条駅

タクシーで子持山登山道まで行けますが、子持神社で降りて参拝をすませ林道を進みます。道の両側には、50万年前に噴出した子持火山の名残りの溶岩や岩脈がみられます。7号橋をすぎると山側の鳥居の奥に子持神社奥の院がひっそりと建っていて、すぐに子持山登山口の標識があります。登山道は沢つたいにあるので、何度か沢を横切りながら登って行きます。沢の水量は普段は少ないのですが、雨期等で水量が増すと判断できなくなるので、その時はとにかく沢からずれないようにします。少し登ると左側に屏風岩がおおいかぶさるよう現れます。厚さ1~7mの岩がコースにそって50~60mの幅で垂直の板のようにそそり立っています。屏風岩を通り過ぎると「円珠尼の歌碑」が左手に建っています。さらに沢つたいに登っていくと水飲み場の看板があり、わき水が出ています。ここを過ぎると普段は水の流れない沢つたいのコースとなりますが、傾斜がしだいにきつくなり、足元がすべりやすいので注意が必要です。斜面を立木につかまりながら登っていくと尾根に登りあげます。しし岩へ向かう尾根は岩と木の根が露出した所が多いのですが、途中右手に巻き道が分かれ、こちらの方が楽に登れます。しし岩の頂上からは三国連山をはじめ関東平野が一望でき、最高の場所です。しし岩からしばらくヤセ尾根に登っていくと、まもなく落葉樹林帯の道になります。山頂のすぐ下に岩場があり、急登を終えると南北に細長い子持山の頂上に着きます。山頂からのパノラマもこれ絶景かなです。下りは、西へマイクロウェーブまで行き林道を下り、国民宿舎わらび荘のある中山峠に出ます。

★ 子持神社 $\frac{1時間}{}$ 登山道入口 $\frac{5分}{}$ 屏風岩 $\frac{50分}{}$ しし岩 $\frac{1時間}{}$ 子持山 $\frac{20分}{}$ 柳木ヶ峯 $\frac{やなぎがみね}{}$ $\frac{せんげ}{}$ $\frac{すみがま}{}$ $\frac{ほとけいむ}{}$ $\frac{にほんぎ}{}$ 浅間 $\frac{1時間10分}{}$ 30分 炭釜 $\frac{30分}{}$ 5分 仏岩 $\frac{25分}{}$ ソゲ石 $\frac{40分}{}$ 子持神社

山頂から下ってきて、柳木ヶ峯の分岐を右にとり樹林帯を下りきると大きな石の祠がある十二を通り、尾根つたいに浅間に着きます。今登ってきたしし岩が正面に望めます。日本一といわれるしし岩の火山岩頸や放射線状岩脈が手にとるようにわかり、遠く赤城山のすそ野に広がる大地を見渡すことができます。さらに梵字で「大日如来」と刻まれた円形の石や石祠、地藏など山岳信仰の名残りに出会いながら尾根道を下って行くと、樹林帯の中に梵字が刻まれた石があり、子持神社までもう一息です。

★ 登山道入口 $\frac{5分}{}$ 屏風岩 $\frac{50分}{}$ しし岩 $\frac{1時間}{}$ 子持山 $\frac{20分}{}$ 車道 $\frac{30分}{}$ 小峠 $\frac{ことうげ}{}$ $\frac{あさひ}{}$ 旭 $\frac{40分}{}$ 50分 寺尾 $\frac{てらお}{}$ $\frac{バス10分}{}$ JR上越線沼田駅

山頂からの下りは、西へ群界尾根のカヤトの道に入り二分します。尾根筋は右の登山道を行きます。まもなく左後方に見えていたマイクロウェーブへ至る車道へ出ますが、車道を横切りふたたび登山道へ入ります。ヤブの中で登山道が二分するので、右にとってややヤブの濃いなかを行くと、すぐに歩きやすい道になります。さらに下り沢沿いの幅広い道に下り立ち、しばらく行くと小峠に着きます。峠から右へ下ると車道に出ます。ほどなく右からの車道を合わせ、畑がみえてくると旭開拓の集落に入り、車道を寺尾のバス停まで歩きます。

★ 六号橋 $\frac{1時間15分}{}$ しし岩 $\frac{1時間}{}$ 子持山 $\frac{20分}{}$ 柳木ヶ峯 $\frac{1時間10分}{}$ 浅間 $\frac{1時間}{}$ 五号橋

六号橋から標識にそって、尾根つたいに登っていきます。登りつめて、しし岩から子持山を経て浅間にいられます。浅間から下った先の円形の梵字石附近に標識があり、左に尾根を下ります。樹林帯をどんどん下っていくと5号橋に出ます。

★ 六号橋 $\frac{1時間15分}{}$ 大タルミ $\frac{1時間}{}$ 柳木ヶ峯 $\frac{20分}{}$ 子持山 $\frac{50分}{}$ しし岩 $\frac{50分}{}$ 屏風岩 $\frac{5分}{}$ 登山道入口

子持山登山道入口の標識を右に見ながら、道路の終点まで行き、そこから沢つたいに登っていきます。かなり登りつめると標識があります。右に道をとって、そそり立つしし岩を右手に見ながら左へまわりこむように進むと、大きな石祠のある十二に着きます。柳木ヶ峯の分岐から山頂を往復し、しし岩、屏風岩へ下ります。

歴史

役の行者像 (えんのぎょうじゃ)

子持山大乗院修験の者たちにより、天変地異の起る山の息災護持を祈って立てられた像です。

役の小角ともいわれ、奈良時代の修験道の祖で大和国の吉野の山などを開きました。

「登頂を目ざす者
必ず合唱あるべし」



時の流れを超えて、 現代を見つめる 歴史の主人公。

毒水よけの不動尊

越後の国の上杉謙信が甲斐の国の武田信玄に塩を送っていたときがありました。ところが塩を送らなくなり、この子持山のふもとで戦いがおこりました。武田方は上杉方が水くみにくる小川に毒をながしました。そのため上杉方は死んでしまいました。ここの氏子たちはその水をのむために不動様を建てて信仰しました。そのききめで毒が消えたということです。



日本武尊ゆかりの子持神社

女神のあしあと

子持神社が火災につつまれたことがありました。本殿のご神体があふなくなってきました。するとたちまち美しい女神のすがたになった子持さまが、両手に幼児をしっかりとさしめたまま、降りかかる火の粉をさけながら社殿の外へ避難されました。

ちょうどそのところに大きなくつぬぎ石があったので、それをとび台にして谷間の岩の上にとびあがることができました。火災が終ったのち村人は、かたいくつぬぎ石に女の足あとと幼児の足あとが深くめりこんでいるように残されているのを発見しました。

女神の足形は長さ22cm幅8cm、幼児の足形は長さ12cm幅5cmで、社殿の右側に保存されています。

子持神社

祭神は「木花開耶姫命」で古くから子授け、安産の守護神として近在の信仰を集めています。神社の創建は崇神とも嵯峨ともいわれています。中性の唱導文芸として知られる神道集に「上野国児持山之事」の写が残されています。

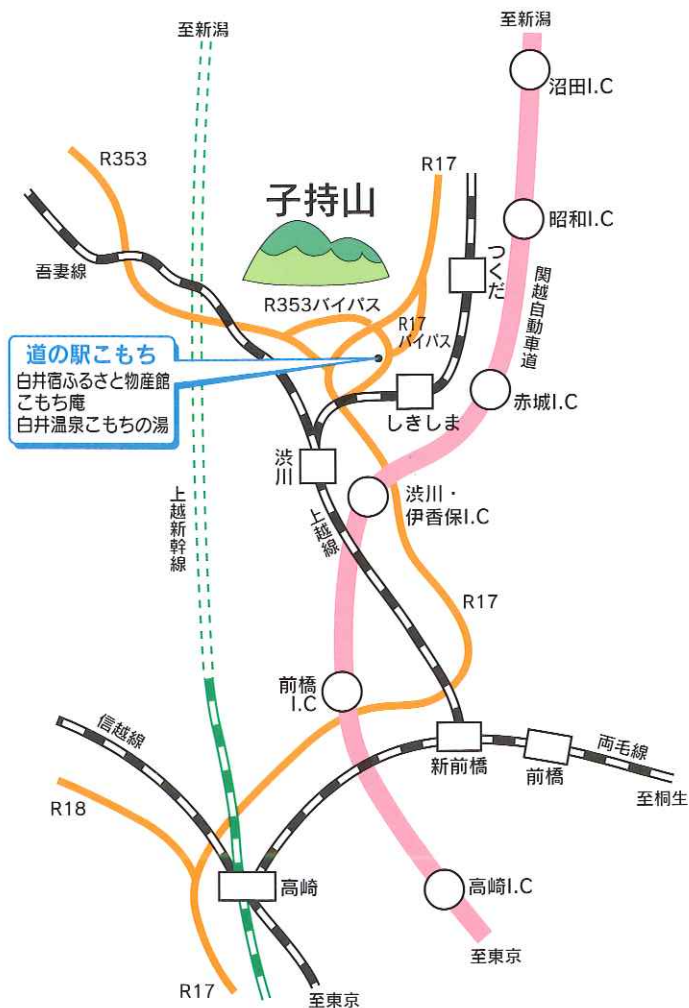
上杉氏や小田原北条氏、武田信玄ら諸武将の崇敬を受けて栄え、徳川幕府より朱印地二十石を賜わっていました。

昔、日本武尊が蝦夷征伐の際、ひそかにこの山にこもって木花開耶姫命と七柱の大神たちを祭って征伐に出向き、その加護によって平定の業をとげられたとも言われています。

境内には古樹、大木が茂り神明権現作りの社殿と調和し、渋い美観をただよわせています。

5月1日の例祭日には太々神樂が奉納され、近在からの参拝客でにぎわいます。

ROUTE INFORMATION



道の駅こもち
 白井宿ふるさと物産館
 こもち庵
 白井温泉こもちの湯



難攻不落の要衛「白井城」を象徴する、城造りの建物が戦国の風を感じさせる。



道の駅 こもち

- 〒377-0204 群馬県渋川市白井2318番地1
鎌倉時代中期に、関東管領上杉氏の配下であった長尾氏が築いた白井城の城下町として栄えた白井宿の一角に位置している。
- 電話 0279-60-6600
- 休館日 毎月第3火曜日
- 開設時間 地場産品直売所 午前9時～午後7時まで
お食事処「食創庵」午前11時～午後7時まで
- 駐車場数 普通車72台 身障者用2台 大型車10台
- トイレ数 男子用14 女子用15 身障者用2

交通

JR上越線渋川駅



タクシー30分

子持神社



タクシー5分

登山道入口

JR上越線敷島駅

徒歩1時間20分



子持神社

交通利用ガイド

JR上越線渋川駅

TEL 050-2016-1600

関越交通(株)渋川営業所

☎0120-882585

群北第一交通(株)渋川営業所

☎0120-502245

日本中央タクシー

TEL (0279) 23-1828

関越交通タクシー沼田営業所

TEL (0278) 24-5151

ご案内

渋川市子持総合支所

TEL (0279)-24-1211

渋川市

<http://www.city.shibukawa.gunma.jp/>